

地区別意見交換会(今市地区) 記録(概要)

開催日時	平成31年1月23日(水) 午後6時00分 ~ 午後7時30分		
開催場所	市役所本庁舎 委員会室		
出席議員	和田公伸(代表者)	青田兆史	亀井崇幸
	荒川礼子	山越一治	
参加者数	9人 (傍聴者) 齋藤伸幸議長・齋藤文明副議長・阿部和子議員・大島浩議員		
報告内容	地域のことを教えてください!		
市民意見	議員意見		
自然が豊かなまちである。 ただ自然が豊かでも何もしなければそれが人の脅威になる。 自分は農業をやっているので、農業を通してこの先自然を守っていきたい。でも農業は人手不足。 この前日光市の若者有志との話し合いに参加したところ、「大人のマイチャレ(職業体験)」という意見があった。違う仕事にチャレンジできる。とてもいい案。 自分のところにも本職を持った人が手伝いに来てくれた。 Wワークしながら農業(自然)を守れたら最高だと思った。			
			農業の後継者不足の問題で、仕組みを変えて活気づけていくことが大切ということ。 素晴らしい話、意見だ。
旧日光あたりは外国人観光客が多いが、フランス人が行方不明になり、フランス本国で大々的に報道されているようだ。日光としても何かできることがなかったか。行方不明になった時の映像・記録が本当に少なかった。オリンピックを控え外国人観光客が増える中で、今後監視カメラを増やすなど、観光客に安心して来ていただけるようにしたらどうかと思った。			
			まさにそのとおり。日光市の危機管理は弱い部分があると思う。防犯カメラを増やしてもいいのでは。 今のご意見は参考にさせていただく。
			日光市は広いので全域のカメラ設置はなかなか難しいのかもしれない。ドライブレコーダーを活用するなど。行方不明事件は日光市にとってイメージダウンでもある。 貴重な意見である。
人口が減っているし、子ども・年寄りを大切にしてほしい。 カワチの前から大谷向駅にまっすぐ道を抜くと、警察署や小学校、店舗などと大谷向駅が近くなる。			
			我々議員は執行権がないので、道を抜くという話は自治会から市に要望してほしい。地域の方からの道路整備に関する意見は大変貴重である。
そこは並木や線路があり、道を抜くのは大変。			
でも、道が抜ければイオンが近くなり、とても便利。			
高齢者による事故が多いから、高齢者が免許を返納するために公共交通網の整備をもっと進めた方がいいと思う。			
今日、バスを乗り継いでこの庁舎にやってきた。日々バスを利用して用を足しているが、乗り継ぎが不便。もっと交通の便が良くなれば。			
			地域の問題を教えてください、大変参考になる。
			大谷向周辺の良いところを教えてください。
グラウンドゴルフがさかん。町内でも個人でも毎日のようにやっている。コートが近くにあるので良い環境である。 道の草刈りも行っている。 草が伸びると危険な場所がわからなくなるのでとても危ない。			

市民意見	議員意見
	地域の皆さんで定期的に草刈りをされているのか。グラウンドゴルフは健康づくりにいい。
大谷向の町内はつながりが深い。まとまっている。	
	近くに集える良い場所があれば交流がさかんになる。
日光市内全域からグラウンドゴルフをしにやってくる場所だ。	
周辺に新鮮な地場野菜が購入できる直売所が多い。 二宮デーとして日にちを決めて地区の清掃を行っている。 オアシス支援事業が小学校区にひとつあること。 それぞれの町内でカラオケ、そば打ち、グラウンドゴルフなど月1回コミュニケーションの場がある。同じ顔ぶれになっているかもしれないが。	
	近くにいる生産者と地域がつながっているということはとても素晴らしい。 二宮デーは、旧今市から続いている。
二宮デーが、住民に周辺をきれいする意識を持たせているのはとてもいいこと。	
	福祉のまちづくり実行委員会が地域の一体感を醸成して町内コミュニケーションを推進しているところがいい。
健康で長生きすることが一番。 それには体を動かす機会、きっかけが必要。 今市中央コミュニティセンターのまちづくり支援事業としてワンコインレッスンが開催されていて、指導者もなく地域のみなさんで歌を歌いながら体操している。80代の人人も楽しみに休まずに通っている。 清滝公民館の会議室でのワンコインレッスンではズンバ教室。 今市公民館事業でのワンコインレッスンはヨガ教室。 行った時だけ500円を払えばいい。月謝だと通いきれない。 こういう教室はとていいと思うし、もっとあるといい。	
	清滝は過去にスポーツコミュニティ施設(スポーツジム)があってそこでズンバ教室は開かれていた。施設が閉鎖されて体育館でやるようになった。
	人が集まる仕組みとしてとてもいいこと。
今市地区は空気、水、山がいい。 学校ボランティアと子どもたちはとてもいい関係を築いている。 一例としてかけ算九九を地域の方が聞くボランティア。良くできたら褒めたりシールを貼る。子どもたちは嬉しい。 介護ボランティアは麻雀や書道を教えるなど良い活動をしている。 ただ、学校と介護のボランティア活動をどちらもやりたい方がいるけれど、別々の手続きが必要。ボランティア活動をまとめて大きなネットワークを作り、活動支援センターで管理してもらい、ボランティアをしたい人がそこにいけばやりたい活動ができるようになるといいと思う。 そうなると、今市地区はボランティア活動がしやすいまちになるのでは。	
オアシス支援事業を6年やっている。 1回1,200円だが、高いと感じる人、安いと感じる人さまざま。 500円くらいで通えればと個人的には思っている。 オアシスはとてもいい事業だが、知られていないのが実状。 もっと知ってもらいたい。	
	まさに地域の中心的な立場としてがんばっていらっしゃる。
第三小学校は学校支援地域協議会を10年続けている。昨年度文科省から表彰を受けた。 3人のコーディネーターが学校ボラを募り活動している。 年2回自治会長・民生委員・老人会などの地域の方々と学校側・PTAとの意見交換会を開催。内容は地域のイベントや危険な場所などの情報を共有。 地域で子どもを育てることにより、その子どもたちが大きくなった時に地元に戻りたくなくなるようにすることが目標。人口減少を抑えられる様に。 子どもは地域の宝。 一方で、自治会に入らない保護者も多いことが課題。 自治会に入ってもらうために、意識付けとして子ども手当調査票に「所属自治会」を書く欄を設けてはどうか。	

市民意見	議員意見
	地域と密接に子育てをすることを考えているところが素晴らしい。
自治会に入ってもらえれば、消防団へも声をかけやすい。	
大通りでいろいろなイベントをやっている。 二宮金次郎、ウルトラマラソン、船村徹をしのぶ会など。 東照宮の鳥居の石は九州から例幣使街道を通して運んだ。 杉並木は松平正綱が植えた。 日光市の4分の3は山。林業の担い手不足。 東京から空き家を利用して杉を伐採しに来る。 今市の歴史は深いので散策するといいい。	
今高生が二宮の森を清掃している。 今工生が省電力水車を設置している。 2022年国体、冬季国体も開催される。 フィールドホッケー、アイスホッケーもさかん。 世界遺産サミットも行われる。	
	いろいろもっとイベント等をPRをすべき。 今市地区は屋台祭りが一番のイベントかと思うが。
花市、六斎市もある。	
超高齢化社会。 高齢者が免許証を返納すると買い物などとても不便。 公共のドアからドアのデマンド交通での送迎を考えないと。 平ヶ崎では自治会で乗合タクシー「ななつぼし」を起ち上げたが、このよ うなことを市も早急に考えなければならない。 日光市として考えているのか、考えているのであれば市民に伝わって いない。	
	市民に分かりやすく説明周知しなければならない。 公共交通は生活安全課が担当している。「ななつぼし」 は平ヶ崎の7つの自治会が市からの補助金を受けて運 営している素晴らしい取り組み。「ななつぼし」を例に、日 光市の公共交通空白地帯を網羅できるように、という公 共交通の計画なのだが、地域の皆さんがまとまらな いと「ななつぼし」のような取り組みは難しい。行政が地域に 仕掛けていくようだ。
市がリードして考えていくべき。 先進地を例に市議会と市で考えて。 地域外に行くときに交通の連携も必要だから。	
	大変貴重なご意見だが、そのような意見は「議会への手 紙」や「市長への手紙」という要望制度へお願いしたい。 公共交通は日光市にとって大きなテーマではあるが、今 回のテーマからははずれてしまった。 今日は今市地区の素晴らしいところをぜひお聞かせ願 いたい。
「議会への手紙」とは、市議会のホームページから出すのか。	
	日光市議会のホームページに入力フォームがある。
	こちらからお聞かせ願いたいことがある。 棚田のことについて、この辺では珍しいので、観光農業 にできるのではと思う。 また、休耕田でハバネロを作っているとのこと、ハバネロは 猿も食べない。今市ではつくっているところはないと思う。 ぜひ話してほしい。
ハバネロは鳥獣被害を受けない。この前猿が食べようとしたが食べら れなかったみたい。	
	ハバネロを商品化していると新聞に掲載されていた。素 晴らしい取り組みなのでぜひ聞きたい。

市民意見	議員意見
<p>日光においしいお米ができるきれいな棚田がある。ただ生産性が悪い。この棚田を未来につなげたいと思っている。</p> <p>ハバネロは自分個人でやっているが、「日光ハバネロ」として商標登録中。</p> <p>商標登録しているのは認知度を上げて日光の皆さんに真似してもらいたいから。</p> <p>自分は棚田とそばを36町歩やっていてすごく忙しく、ハバネロは自分だけじゃ生産が間に合わない。</p> <p>お年寄りに作ってもらって、自分が買い取って、お年寄りにお金を戻したい。だから現在高い値段で商品売っている。</p> <p>この辺の人は「いいものを安く」売ってしまう。</p> <p>日光というブランドで、高く高く売ればみんなが興味を持ってくれるかなと思っている。</p> <p>高齢者にも生産してもらい、高齢者にお金を戻し、そして働くことで健康になったら、おもしろいなと思っている。</p> <p>若い世代に話をきくと、高齢者とながりをもちたいと思っている。</p> <p>私は高齢者とながりたいため、焼き芋屋も始めた。</p> <p>宇大のお米「ゆうだい21」のジェラードもやっている。</p>	
	若者とながりを持った集まりは何。
シティプロモーションの一環の集まり。	
	若い世代が頑張っているのはとても嬉しい。
	消防団の話も聞きたい。
<p>私は副団長をやっている。消防団に入って初めて知ったが、署員は9人くらいしか現場に来られない現状があり、日光市の火事は消防団がいないと消せない。消防団員を増やすため、自治会に呼びかけたりしているが、なかなか集まらない。なんとか消防団員が増えるように情報を広めたいと思っている。</p>	
班としての総括・所感	
<p>今回の地区別意見交換会では「地域のことを教えてください」をテーマに、初めての試みとして旧今市5地区に分かれて開催し、私たちは今市地区を担当した。</p> <p>今までは自治会や各種団体との意見交換会だったが、今回は様々な分野に精通した9名の市民の皆様にご参加いただき、多くのご意見をいただいた。</p> <p>今市地区の素晴らしいところとして、「今市地区は空気や山、水などの環境が良く自然豊かなまち」、「新たな農業ブランドの構築やPR」、「外国人観光客の増加」、「グランドゴルフが盛んなこと」、「新鮮な地場野菜を購入できる直売所が多いこと」、「オアシス支援事業や公民館単位での健康教室」、「学校や介護のボランティアの充実」、「第三小学校区での地域を巻き込んだ協議会活動」、「大通りでの様々なイベント開催(花市や六斎市等)」、「デマンドタクシー(ななつぼし)」など多くの意見が挙げられ、地域の絆や地域に対する熱い思いを感じた会であった。</p> <p>今回のように一人ひとりのご意見をいただくのは非常に大切であり、意見交換会や議会報告会などを通じて様々な住民に参加してもらうことが一番肝要である。</p> <p>なお、開催時間の設定が午後6時だったことから、今回参加できなかったようで、子育て中や働く世代の方々に参加してもらうには時間の設定を考えなければならない。</p> <p>地域の素晴らしいところについての意見が多く出た一方で、農業の担い手不足や観光客の安心安全、超高齢社会による問題などのご意見もあった。</p> <p>今市地区で行われる様々な地域の良いところをもっと市広報やあらゆる機会のなかでPRすべきとの提言もいただき、班全員の共通認識として捉えた。</p>	